

## 別紙

### 鳥取県農林水産部指定管理施設運営評価委員会評価報告書

鳥取県農林水産部指定管理施設運営評価委員会（以下「評価委員会」という。）として、次のとおり指定管理者によるとっとり出合いの森の管理運営状況を評価した。

#### 1 対象施設

とっとり出合いの森

#### 2 指定管理者

株式会社 谷尾樹楽園（鳥取市杉崎字大政470番地1）

#### 3 指定管理期間

平成26年4月1日から平成31年3月31日

#### 4 評価委員会

(1) 開催日 平成29年12月18日

(2) 開催場所 とっとり出合いの森管理棟

(3) 評価委員（5名中4名が出席）

氏名	所属等
家中 茂	鳥取大学地域学部地域学科教授
若松 信宏	税理士
山本 ルリコ	NPO法人ECOフューチャーとっとり副理事長
川添 あけみ	鳥取第五幼稚園長

※尾崎 史明委員（県農林水産部森林・林業振興局長）は欠席

#### (4) 評価方法

平成26年度から平成28年度分の指定管理者から提出された事業報告及び各年度の県による評価結果等に基づき、各委員が以下の審査項目ごとに評価を行った。

評価は、「2、1、0、△1、△2」の5段階で行い、4人の委員の点数の平均で決定した。

審査項目	主な審査内容
施設設備の維持管理等	<ul style="list-style-type: none"><li>施設設備の保守管理・修繕</li><li>施設の保安警備、清掃等</li><li>トラブルの未然防止、緊急時対応等</li></ul>
利用者サービス	<ul style="list-style-type: none"><li>開園時間、休園日等</li><li>利用者へのサービス提供・向上策</li><li>利用者意見の把握・対応</li><li>森林の活用</li><li>利用促進</li></ul>
管理運営の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>職員の配置</li><li>会計事務の状況</li><li>法令等の遵守</li></ul>

#### 【評価指標】

2：協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画を上回る実績があり、特に優れた管理運営がなされている。

1：協定書の内容を上回るレベルで実施されており、優れた管理運営がなされている。

0：おおむね協定書の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。

△1：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み又は改善される見込みである。

△2：協定書の内容に対し、不適切な事項が認められ、大いに改善を要する。

（裏面につづく）

(5) 評価結果

ア 評価点数

指定管理者によるとっとり出会いの森の管理運営状況の評価は「0」と決定した。

審査項目	評価点数（各委員の点数の平均）
施設設備の維持管理等	0.75
利用者サービス	0.0
管理運営の状況	0.25
総括	0.33

(注) 総括の評価は0.33となり、委員協議の結果、5段階のうち「0」と決定

イ 運営評価委員からの主な意見

(施設設備の維持管理等)

- ・造園業者の視点から、その特徴・長所を活かして、施設内の樹木や植生を管理しており、適切な管理に努めている。
- ・自然をそのまま活かしながら環境整備をしており、安心して利用できる施設である。
- ・植栽の管理方針（薬品を使わない、季節毎やエリア毎の見どころ）など利用者に伝えることも必要。

(利用者サービス)

- ・利用者の利用目的や、利用者の特性をもっと把握できると興味深い。経験的には把握していると思われるので、その知見や情報を活かすことに工夫があってよいと思われる。
- ・イベント等の参加者数だけでなく、企画時の対象者、様子なども企画向上のために記録するとよい。
- ・県民の森林に対する理解をより深めるために、専門家によるイベント等の企画がされるとより効果的である。
- ・樹木観察と樹名板の取付けを組み合わせ、もっと植生に関して知識や関心を増やすような取組、イベントがあってよいように思われる。
- ・自然観察、野外活動の良さをアピールできる取組を工夫していただきたい。
- ・フェイスブック等の広報もだが、ポスター、パンフレットでのアピールも有効だと感じる。
- ・自然観察、野外活動を通じた森林に対する理解を深めることができる企画を一層期待する。

(管理運営の状況)

- ・特に問題はないが、一方で特徴的なことも聞かれなかった。

(その他)

- ・概ね協定書の内容のとおり実施されており、評価できる。
- ・遊具の修繕をできるだけ早く行くと、小学生、園児等にとって良い。
- ・展示室の利用は全体予算の関係があるだろうが、十分なスペースがあるのでミニ博物館的な活用も望みたい。
- ・薪ストーブは、森林に対する理解を体験的に深めるよいツールなので、活用方法を検討すると利用者の属性の変化や増加につながるのではないかと。